

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道208号 大川佐賀道路
事業主体	九州地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	費用便益比 (B/C) = 1.8 (経済的純現在価値 (B-C) = 392億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 6.2%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	並行区間の渋滞損失時間 渋滞損失時間の削減：11万人・時間/年(国道208号) の渋滞損失の削減率：約3割削減(国道208号)
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	九州唯一の夜間貨物便が運行する有明佐賀空港へのアクセス向上 (鹿島市～有明佐賀空港：56分→30分、大牟田市～有明佐賀空港：78分→36分)	
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	有明海沿岸道路沿線に存在する重要港湾三池港へのアクセス向上 (三池港～佐賀市：66分→24分)
	■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	当該地域周辺は、有明海沿岸に位置しており、豊富な有明海の資源の流通の促進が図られる。	
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input checked="" type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	佐賀県広域道路網マスタープラン
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	有明海沿岸道路の一部区間として、平成12年に整備区間に指定されている
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	生活中心都市である佐賀市、大牟田市を連絡するルートである(佐賀市~大牟田市 66分→24分)
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	諸富等から佐賀市へのアクセスが向上する。
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	パルーンフェスタ(佐賀市)は、年間約100万の集客があり、広域的に観光客が訪れており、本道路の利用によりアクセスの向上が図られる。
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	パルーンフェスタ(年間100万人超)、吉野ヶ里遺跡等への観光アクセス条件向上
		<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である	
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる			
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	佐賀県立病院好生館、佐賀大学医学部付属病院へのアクセス向上
	安全で安心できるくらしの確保		

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	代替する緊急輸送道路路線名：国道208号（一次ネットワーク）、代替する区間：諸富町～佐賀市
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす			
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	1,150t-CO2/年を排出抑制
	生活環境の改善・保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	
		<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される			
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
一般国道208号	大川佐賀道路	L = 9. 0 Km	地域高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
37, 300	4	九州地方整備局

① 費用

	改 築 費	維持修繕費	合 計
基 準 年	平成17年度		
単純合計	709億円	92億円	801億円
うち残事業分	706億円	92億円	798億円
基準年における 現在価値 (C)	436億円	27億円	463億円
うち残事業分	433億円	27億円	460億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年	平成17年度			
供用年	平成31年度			
単年便益 (初年便益)	44億円	7億円	3億円	53億円
基準年における 現在価値 (B)	706億円	89億円	60億円	855億円
うち残事業分	706億円	89億円	60億円	855億円

③ 結 果

費用便益比 (事業全体)	1.8
費用便益比 (残事業)	1.9

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

費用便益分析の条件

(全事業)

路線名	事業名	延長	事業種別	事業主体
一般国道208号	大川佐賀道路	L = 9.0 Km	地域高規格	九州地方整備局

交通状況（推計時点 H42年）
トリップの平均像

		整備なし(A)	整備あり(B)	A - B
①総トリップ数 (OD表による交通量)	トリップ°	3,146,778	3,146,778	0
②平均トリップ長 (総走行台和÷総トリップ°数)	km	9.6	9.6	0.0
③平均速度 (総走行台和÷総走行時間)	km/h	40.9	41.3	-0.4
④平均走行時間 (総走行時間÷総トリップ°数)	分	14.1	14.0	0.1
⑤平均走行経費 (総走行経費÷総トリップ°数)	円/トリップ°	167.5	166.7	0.8
⑥平均事故件数 (総交通事故件数÷総トリップ°数)	件/万トリップ°			0.0

(注) 総トリップ数は原則として、整備なしの場合と整備ありの場合で変化しない。

費用便益分析の条件

事業名: 大川佐賀道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成17年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H11センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の場合	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で並行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載 各道路区間(リンク)毎の混雑の度合いに応じた速度差を考慮するとともに、1日の平均的な走行状態を表現するため「加重平均速度」を用いた。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道208号 大川佐賀道路

採用単価の根拠 一般国道(直轄)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	9.0	2.43

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-18年目	H 13	1.1699	1	1	0	0
-17年目	H 14	1.1249	1	1	0	0
-16年目	H 15	1.0816	1	1	0	0
-15年目	H 16	1.0400	1	1	0	0
-14年目	H 17	1.0000	1	1	0	0
-13年目	H 18	0.9615	2	2	0	0
-12年目	H 19	0.9246	2	2	0	0
-11年目	H 20	0.8890	3	2	0	0
-10年目	H 21	0.8548	3	3	0	0
-9年目	H 22	0.8219	12	10	0	0
-8年目	H 23	0.7903	28	22	0	0
-7年目	H 24	0.7599	67	51	0	0
-6年目	H 25	0.7307	67	49	0	0
-5年目	H 26	0.7026	67	47	0	0
-4年目	H 27	0.6756	67	45	0	0
-3年目	H 28	0.6496	67	43	0	0
-2年目	H 29	0.6246	67	42	0	0
-1年目	H 30	0.6006	67	40	0	0
供用開始年次	H 31	0.5775	0	0	2	1
1年目	H 32	0.5553	0	0	2	1
2年目	H 33	0.5339	0	0	2	1
3年目	H 34	0.5134	0	0	2	1
4年目	H 35	0.4936	0	0	2	1
5年目	H 36	0.4746	0	0	2	1
6年目	H 37	0.4564	47	22	2	1
7年目	H 38	0.4388	47	21	2	1
8年目	H 39	0.4220	47	20	2	1
9年目	H 40	0.4057	47	19	2	1
10年目	H 41	0.3901	0	0	2	1
11年目	H 42	0.3751	0	0	2	1
12年目	H 43	0.3607	0	0	2	1
13年目	H 44	0.3468	0	0	2	1
14年目	H 45	0.3335	0	0	2	1
15年目	H 46	0.3207	0	0	2	1
16年目	H 47	0.3083	0	0	2	1
17年目	H 48	0.2965	0	0	2	1
18年目	H 49	0.2851	0	0	2	1
19年目	H 50	0.2741	0	0	2	1
20年目	H 51	0.2636	0	0	2	1
21年目	H 52	0.2534	0	0	2	1
22年目	H 53	0.2437	0	0	2	1
23年目	H 54	0.2343	0	0	2	1
24年目	H 55	0.2253	0	0	2	1
25年目	H 56	0.2166	0	0	2	1
26年目	H 57	0.2083	0	0	2	0
27年目	H 58	0.2003	0	0	2	0
28年目	H 59	0.1926	0	0	2	0
29年目	H 60	0.1852	0	0	2	0
30年目	H 61	0.1780	0	0	2	0
31年目	H 62	0.1712	0	0	2	0
32年目	H 63	0.1646	0	0	2	0
33年目	H 64	0.1583	0	0	2	0
34年目	H 65	0.1522	0	0	2	0
35年目	H 66	0.1463	0	0	2	0
36年目	H 67	0.1407	0	0	2	0
37年目	H 68	0.1353	0	0	2	0
38年目	H 69	0.1301	0	0	2	0
39年目	H 70	0.1251	-47	-6	2	0
合計			662	436	92	27
単純事業費計			709		92	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道208号 大川佐賀道路

採用単価の根拠 一般国道(直轄)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	9.0	2.43

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-18年目	H 13	1.1699	0	0	0	0
-17年目	H 14	1.1249	0	0	0	0
-16年目	H 15	1.0816	0	0	0	0
-15年目	H 16	1.0400	0	0	0	0
-14年目	H 17	1.0000	0	0	0	0
-13年目	H 18	0.9615	2	2	0	0
-12年目	H 19	0.9246	2	2	0	0
-11年目	H 20	0.8890	3	2	0	0
-10年目	H 21	0.8548	3	3	0	0
-9年目	H 22	0.8219	12	10	0	0
-8年目	H 23	0.7903	28	22	0	0
-7年目	H 24	0.7599	67	51	0	0
-6年目	H 25	0.7307	67	49	0	0
-5年目	H 26	0.7026	67	47	0	0
-4年目	H 27	0.6756	67	45	0	0
-3年目	H 28	0.6496	67	43	0	0
-2年目	H 29	0.6246	67	42	0	0
-1年目	H 30	0.6006	67	40	0	0
供用開始年次	H 31	0.5775	0	0	2	1
1年目	H 32	0.5553	0	0	2	1
2年目	H 33	0.5339	0	0	2	1
3年目	H 34	0.5134	0	0	2	1
4年目	H 35	0.4936	0	0	2	1
5年目	H 36	0.4746	0	0	2	1
6年目	H 37	0.4564	47	22	2	1
7年目	H 38	0.4388	47	21	2	1
8年目	H 39	0.4220	47	20	2	1
9年目	H 40	0.4057	47	19	2	1
10年目	H 41	0.3901	0	0	2	1
11年目	H 42	0.3751	0	0	2	1
12年目	H 43	0.3607	0	0	2	1
13年目	H 44	0.3468	0	0	2	1
14年目	H 45	0.3335	0	0	2	1
15年目	H 46	0.3207	0	0	2	1
16年目	H 47	0.3083	0	0	2	1
17年目	H 48	0.2965	0	0	2	1
18年目	H 49	0.2851	0	0	2	1
19年目	H 50	0.2741	0	0	2	1
20年目	H 51	0.2636	0	0	2	1
21年目	H 52	0.2534	0	0	2	1
22年目	H 53	0.2437	0	0	2	1
23年目	H 54	0.2343	0	0	2	1
24年目	H 55	0.2253	0	0	2	1
25年目	H 56	0.2166	0	0	2	1
26年目	H 57	0.2083	0	0	2	0
27年目	H 58	0.2003	0	0	2	0
28年目	H 59	0.1926	0	0	2	0
29年目	H 60	0.1852	0	0	2	0
30年目	H 61	0.1780	0	0	2	0
31年目	H 62	0.1712	0	0	2	0
32年目	H 63	0.1646	0	0	2	0
33年目	H 64	0.1583	0	0	2	0
34年目	H 65	0.1522	0	0	2	0
35年目	H 66	0.1463	0	0	2	0
36年目	H 67	0.1407	0	0	2	0
37年目	H 68	0.1353	0	0	2	0
38年目	H 69	0.1301	0	0	2	0
39年目	H 70	0.1251	-47	-6	2	0
合計			659	433	92	27
単純事業費計			706		92	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

便益の現在価値算定表

箇所名:一般国道208号 大川佐賀道路

年次	年度 (基準年) H17	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 31	1.00729	0.99864	1.00492	0.5775	23	3	10	7	44	25	3	0	2	2	7	4	3	2	53	31
1年目	H 32	1.00157	0.99595	1.00004	0.5553	24	3	10	7	44	24	3	0	2	2	7	4	3	2	54	30
2年目	H 33	1.00157	0.99594	1.00004	0.5339	24	3	10	7	44	23	3	0	2	2	7	4	3	2	53	29
3年目	H 34	1.00156	0.99592	1.00004	0.5134	24	3	10	7	44	22	3	0	2	2	7	3	3	2	53	27
4年目	H 35	1.00156	0.99590	1.00004	0.4936	24	3	10	7	44	22	3	0	2	2	7	3	3	2	53	26
5年目	H 36	1.00156	0.99589	1.00004	0.4746	24	3	10	7	44	21	3	0	2	2	7	3	3	2	53	25
6年目	H 37	1.00156	0.99587	1.00004	0.4564	24	3	10	7	44	20	3	0	2	2	7	3	3	1	53	24
7年目	H 38	1.00156	0.99585	1.00004	0.4388	24	3	10	7	44	19	3	0	2	2	6	3	3	1	53	23
8年目	H 39	1.00155	0.99584	1.00004	0.4220	24	3	9	7	44	18	3	0	2	2	6	3	3	1	53	22
9年目	H 40	1.00155	0.99582	1.00004	0.4057	24	3	9	7	44	18	3	0	2	2	6	3	3	1	53	22
10年目	H 41	1.00155	0.99580	1.00004	0.3901	40	5	16	12	73	29	3	0	3	2	9	3	7	3	88	34
11年目	H 42	0.99690	0.99472	0.99633	0.3751	40	5	16	12	73	27	3	0	3	2	9	3	7	2	88	33
12年目	H 43	0.99689	0.99469	0.99632	0.3607	40	5	16	12	73	26	3	0	3	2	9	3	6	2	88	32
13年目	H 44	0.99688	0.99467	0.99630	0.3468	40	5	16	12	73	25	3	0	3	2	9	3	6	2	88	30
14年目	H 45	0.99687	0.99464	0.99629	0.3335	40	5	15	11	72	24	3	0	3	2	8	3	6	2	87	29
15年目	H 46	0.99686	0.99461	0.99628	0.3207	40	5	15	11	72	23	3	0	3	2	8	3	6	2	87	28
16年目	H 47	0.99685	0.99458	0.99626	0.3083	40	5	15	11	72	22	3	0	3	2	8	3	6	2	87	27
17年目	H 48	0.99684	0.99455	0.99625	0.2965	40	5	15	11	72	21	3	0	3	2	8	2	6	2	86	26
18年目	H 49	0.99683	0.99452	0.99623	0.2851	40	5	15	11	71	20	3	0	3	2	8	2	6	2	86	24
19年目	H 50	0.99682	0.99449	0.99622	0.2741	39	5	15	11	71	19	3	0	3	2	8	2	6	2	86	23
20年目	H 51	0.99681	0.99446	0.99621	0.2636	39	5	15	11	71	19	3	0	3	2	8	2	6	2	85	22
21年目	H 52	0.99634	0.99695	0.99650	0.2534	39	5	15	11	70	18	3	0	3	2	8	2	6	2	85	22
22年目	H 53	0.99632	0.99695	0.99648	0.2437	39	5	15	11	70	17	3	0	3	2	8	2	6	2	85	21
23年目	H 54	0.99631	0.99694	0.99647	0.2343	39	5	15	11	70	16	3	0	3	2	8	2	6	1	84	20
24年目	H 55	0.99630	0.99693	0.99646	0.2253	39	5	15	11	70	16	3	0	3	2	8	2	6	1	84	19
25年目	H 56	0.99628	0.99692	0.99645	0.2166	39	5	15	11	69	15	3	0	3	2	8	2	6	1	84	18
26年目	H 57	0.99627	0.99691	0.99643	0.2083	38	5	15	11	69	14	3	0	3	2	8	2	6	1	83	17
27年目	H 58	0.99625	0.99690	0.99642	0.2003	38	5	15	11	69	14	3	0	3	2	8	2	6	1	83	17
28年目	H 59	0.99624	0.99689	0.99641	0.1926	38	5	15	11	69	13	3	0	3	2	8	2	6	1	83	16
29年目	H 60	0.99623	0.99688	0.99639	0.1852	38	5	15	11	68	13	3	0	3	2	8	1	6	1	83	15
30年目	H 61	0.99621	0.99687	0.99638	0.1780	38	5	14	11	68	12	3	0	3	2	8	1	6	1	82	15
31年目	H 62	0.99620	0.99686	0.99637	0.1712	38	5	14	11	68	12	3	0	3	2	8	1	6	1	82	14
32年目	H 63	0.99618	0.99685	0.99635	0.1646	38	5	14	11	68	11	3	0	3	2	8	1	6	1	82	13
33年目	H 64	0.99617	0.99684	0.99634	0.1583	37	5	14	11	67	11	3	0	3	2	8	1	6	1	81	13
34年目	H 65	0.99615	0.99683	0.99633	0.1522	37	5	14	11	67	10	3	0	3	2	8	1	6	1	81	12
35年目	H 66	0.99614	0.99682	0.99631	0.1463	37	5	14	11	67	10	3	0	3	2	8	1	6	1	81	12
36年目	H 67	0.99612	0.99681	0.99630	0.1407	37	5	14	11	67	9	3	0	3	2	8	1	6	1	81	11
37年目	H 68	0.99611	0.99680	0.99629	0.1353	37	5	14	11	67	9	3	0	3	2	8	1	6	1	80	11
38年目	H 69	0.99609	0.99679	0.99627	0.1301	37	5	14	11	66	9	3	0	3	2	8	1	6	1	80	10
39年目	H 70	0.99608	0.99678	0.99626	0.1251	37	5	14	10	66	8	3	0	3	2	8	1	6	1	80	10
合計						1,396	188	540	401	2,524	706	126	9	106	67	309	89	219	60	3,052	855